

学習会 予白会

TPP参加で食料も



雇用も

地域経済も危機に

あなたならどうする日本の経済？

とき 2011年3月23日(水)18時~19時30分
ところ 勤労者福祉センター4階会議室
講師 山本 隆志(JA岡山中央会) さん

TPP（環太平洋経済連携協定）は、シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイの4カ国が2006年に発足させたEPA（経済連携協定）であり、物品だけでなく、投資・金融以外の物品について段階的に（10年前後）、例外なく自由化に移行させる協定です。アメリカはアジア諸国が世界的な経済発展の中心になる中で、アジアの経済成長から取り残される恐れがあり、アメリカは日本を巻き込み、日米間の関税なしの自由貿易協定を狙うことで、アジア経済を引き寄せ、中国を牽制するのが目的とされています。

● TPPは米国のオバマ大統領が日本に押し付けた事実上の日米FTA（自由貿易協定）であり、協定されれば日本の農業だけでなく、雇用も壊滅的な打撃を受け、地域経済は崩壊します。

● 岡山県はTPPの影響を582億円の減産と試算していますが、農協団体の試算ではこれ以上の影響があるとしています。TPPは規制緩和と一体であり、医療、労働条件など国のあり方まで変えてしまいます。

● 一緒に学習して、反対の運動を盛り上げましょう。

連絡先：岡山県労働組合会議
岡山市北区春日町5-6
TEL086-221-0133
FAX086-221-3595